

部長を訪れた。製鐵所が滿洲事變以來軍需工業の活況に依つて、受注量を激増し、甚大なる利益を擧げて、製鐵所會計の赤字を埋め、既に黒字を出して好況時代と同様の労働に従業員に強制してゐるにもかゝらず、その賃金は製鐵所が減産に次ぐ減産を以てし、全従業員が製鐵所會計の赤字時代なるが故に極度の生活逼迫に堪へ忍んでゐた時と同額に釘付けにしてゐるのは甚だ不穩當にして、在籍の労働團體が常に強硬に主張してゐる割増賃金は本給に繰入るべきが正當なる旨を要請した。

磯谷労働部長から本件は賃金の根本的問題であるが故に慎重に考慮する旨の誠意ある回答を得て引き揚げたが、その後製鐵所の生産工場に於ける従業員の新増賃金は激増し、非生産工場にも着々として工程割増が實施されて、製鐵所従業員の収入は増大されてゐるが、わが九州地方協議會は日本製鐵従業員組合と協力し、その重なる主張の一つである割増本給繰り入れに就き公正なる賃金制度の確立のため砲くまでこの主張貫徹に邁進せねばならない。

尾ヶ崎汽船争議の應援

尾ヶ崎汽船の争議に於けるわが九州地方協議會の全力的應援闘争に就いては事業報告の中にも詳報してあるが、暴戻尾ヶ崎汽船に對する日本海員組合本部の停船指令一下、わが九州地方協議會は總動員して、九州地方の海員組合各支部へ配屬し、協力一體となつて白刃と棍棒で武装せる會社御地への暴力團と鋭く對立し、一步も譲るところなく堂々と戦つて遂に完成なる海員組合の大勝まで争議を戦ひ抜いた。尾ヶ崎汽船會社の暴戻は御用暴力團を汽船に積みこみ、組合の停船指令を暴力と白刃に依つて阻まんとし、殊に若松港外、並に下關港岸壁に於ける争議團と暴力團の衝突は將に屍山、血河の一步前で暴力團を屈服せしめて辛くも事なきを得たが、會社側の傍若無盡の暴力行爲に就いては、わが九州地方協議會は伊藤書記長と故西海員組合戸加支部長を福岡縣廳に派し、警察部長に嚴重抗議して、争議に對する暴力行爲の徹底的取締りを要求して、會社側の御用暴力團を完全に萎縮せしめた。

かくてわが九州地方協議會の緊密なる統制と協力一體の争議行動は九州地方關係の部署を完全に守つて、かの輝かしき尾ヶ崎汽船争議大勝利解決の重大なる動因を築いた。

製鐵官民合同反對闘争の協力

本春一月より前後四ヶ月に亘る製鐵官民合同反對闘争は製鐵所創設以來の最大の大量運動であつた。わが九州地方協議會加盟の官勞同志會と製鐵労働聯合會は全力を傾倒して、製鐵所従業員の自主的立場から製鐵官民合同反對同盟を組織し鐵の如き結束と統制を以て、全従業員を一齊に驅起させた。百八名よりなる大衆的東京委員を派して政府要路へ製鐵官民合同絕對反對を陳述し、地元に於ける火の様な大衆闘争の組織と相呼應して中央政局並に地方警察部を震愕させた。北支の風雲急を告げ、國際聯盟の危機に當面して軍需、國防産業の重心をなす製鐵所のゼネストの豫想は當局を周章狼狽の極に追ひ詰めた。中島商相は遂に従業員代表に將來の労働條件の福利共済施設確保に重大聲明を與へ、法律として既得條件を確得することが出来た。法案は遂に議會を通過して主義上の争ひには敗れたが、製鐵所従業員直接生活に關する件に就いては一步も退くことなく將に労働階級の記録の大勝を収めることが出来た。

わが九州地方協議會は本闘争を側面より、吾面より極力、支持鞭撻し、殊に日本労働組合會議本部は東京芝浦の海員ホームに代表者を召集して本闘争の積極的應援を申し合せ、對政府運動の効果的な展開に最善の努力を拂つて、かの大勝に導く大道を拓いた。この闘争を樞機として製鐵所労働組合の單一組織化が完成され、日本製鐵従業員組合としてその陣容を整備強化して、わが九州地方協議會に一勢力を増したことは全く慶びに堪へない。

國際労働代表顧問選出にその歓迎

我國の國際聯盟脱退の餘波にあふられて、無批判なる排外的國家對立主義思想の澎湃たる反動期に臨んで、日本労働組合會議本部は労働階級の福利擁護の立場から、我國の國際労働機關脱退の危機を防止した。わが九州地方協議會も本部のこの方針を全力的に支持して、第十七回國際労働會議参加が決定されるや、九州地方協議會は全力を擧げて我國労働代表顧問に日本製